

よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

EKIN

四号

2006. 10

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2006年10月1日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mx.netwave.or.jp
<http://www.netwave.or.jp/~ekingura>

シリーズ

絵金百話

第三話それぞれの絵金



INFORMATION

獅子舞

絵金ゆかりの神社、須留田八幡宮の秋の神祭では、百年のときを超えて復活した「獅子舞」が演じられる。あの氏子の男性が、古い写真や神社に残る獅子舞の頭の存在などで、かつて須留田八幡宮でも獅子舞が演じられていたことを知ったのがきっかけ。若手の男性たちが別の地区の同じスタイルの獅子舞を習い、4年ほど前に始められた。技を受け継ぐとともに、今の時代に合った獅子舞を演じたい。復活のエネルギーを感じる獅子舞が、十一月三日、赤岡町内を闊歩する。



須留田八幡宮神祭
11月3日(金)

13時須留田八幡宮を出発。各お旅所にて演じられる。絵金蔵前の広場にも立ち寄る。

まちの news

第12回 冬の夏祭り

今年のテーマ「まちは玉手箱」!

スケジュール

10/17 [絵金蔵]
アイルランド音楽とダンスの夕べ

11/3 [赤岡町内]
須留田八幡宮神祭(獅子舞)

12/2, 3 [横町商店街]
赤岡・冬の夏祭り

☆詳細は随時絵金蔵HPにアップします。

今年もやってきました。毎年恒例、「赤岡 冬の夏祭り」。通行止めの横町商店街にはこたつが並び、赤岡の美味しいものや手作り品、いいモノを作り続ける作家さんの作品郡が軒を連ねます。乞うご期待!

12/2 [土]
12/3 [日]

午前9時~午後5時
赤岡町・横町商店街にて
問・冬の夏祭り実行委員会
0887-55-3468

絵金蔵の三つの使命

年に一度
:: 絵金の文化を守るため
伝承
:: 次の世代へ伝えるため
縁結び
:: 地域を超えて世代を超えて

幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は、土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成15年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。



それぞれの絵金

読書の秋。
 早速ですが、
 絵金という人物について
 ちよつと考えて
 みませんか？



監督・制作 / 中平康
 中平プロ 1971年
 出演 / 磨赤児、稲野和子、扇ひろ子、岡田英次、田代信子、加賀まりこ、江守徹他

闇の中の魑魅魍魎

みる？

こんな映画があったのか！
 超カルト絵金ムービー

1971年、高知出身の映画監督・中平康が、絵金を主人公に撮った映画。中平康といえば、石原裕次郎主演の「狂った果実」で、「ゴダール」や「リュフオー」らフランス・ヌーベルヴァークの作家たちを熱狂させた監督。舞踏家・磨赤児が絵金に扮し、扇ひろ子、岡田英次、加賀まりこなど豪華キャストが脇を固めた本作は、カンヌ映画祭コンペティション部門にも選ばれた。

絵金の異端ぶりが大胆に描写された本作は、様々な物議を醸し出した。当時の絵金観が色濃く見て取れる作品と言える。

もう一つの絵金ムービー『ちんなねえ』

1996年、高知県立美術館の開館3周年記念として「絵金展―土佐の芝居絵と絵師金蔵」が開催された。『ちんなねえ』は、その関連企画として制作された磨赤児の舞台公演を、林海象監督がストーリー性を持たせてまとめあげたアーカイブドキュメンタリー。公演の記録にとどまらない摩訶不思議な世界が繰り広げられる。県立美術館ミュージアムショップにて販売中。

「そもそも絵金って？」
 という人のために。

絵金

[1812 - 1976]

土佐の芝居絵師

「絵金」とは、土佐の芝居絵師金蔵の通称です。幕末から明治の始めにかけて活躍しました。屏風をキャンバスに歌舞伎の見せ場を描いた「芝居絵屏風」を県内各地の祭礼に多く残しています。絵金が生まれたのは1812年。坂本龍馬が1834年生まれですから、ちょうど龍馬が日本を駆け巡っていた幕末の動乱期に、土佐の庶民は絵金の絵に親しんでいたのですね。

― 芝居絵屏風 ―

「芝居絵屏風」は、土佐の夏の祭礼に展示するために作られた屏風絵です。絵金が始め、大成させたとされています。二つに折れ曲がる一枚の屏風をキャンバスに、描かれるのは歌舞伎の見せ場。ストーリーを読み解くヒントとともに、赤や青、緑など色鮮やかな原色を使って描かれます。各地の祭礼ではそれぞれ独自の展示方法を展開。折れ曲がる屏風の特性そのままに地べたに置くのが赤岡流。そのほか、屏風を展示するための台を作って神社の境内や参道に並べるところもあります。芝居絵屏風の他には、白描画や笑い絵などもたくさん残っています。

絵金蔵ミュージアムショップにて販売中！

絵金読本



¥800

● 絵金に生涯を捧げた男の本。

赤岡出身の郷土史家、近森敏夫さんがまとめた絵金の読本。生涯絵金を追いつけた氏の絵金観が伝わる一冊となっている。絵金の人物像や芝居の情景が浮かぶような独特な語り口が読むものを絵金の世界へといざなってくれる…。英語版も500円で販売。

よむ。

オリジナル図録



¥2,000

● 飾りたくなる図録。

絵金蔵に収蔵される絵金の作品を解説と鮮やかなカラー写真で紹介するとともに、絵金の生涯や芝居絵以外の画業など、絵金蔵の展示内容がわかりやすくまとめられている。思わず飾りたくなるそのデザインは、絵金蔵のロゴや展示のデザインを手がけた梅原真氏によるもの。

★ えきんぐら主催ライブ第4弾 ★

と き：10月17日(火) 午後7時開演
 と ころ：絵金蔵
 入 場 料：2800円(前売りのみ)

☆ 出演 ☆
 ショーン・ライアン (ティン・ホイッスル)
 キアラ・ライアン (ダンス)
 アン・カラナン (ダンス)
 守安功 (フルート)・雅子 (アイリッシュハーブ)
 北村剛 (バウロン)

アイルランド音楽と ダンスの夕べ

絵金蔵主催ライブも4回目となりました。絵金蔵が米蔵だった時代から行われて来たコンサート、これまで南米音楽や長唄三味線などジャンル問わず数々のミュージシャンが来てくれましたが、今回はなんとアイルランドの笛吹きさん。知る人ぞ知る伝統音楽の名演奏家ショーン・ライアンです。実は昨年も絵金蔵で素敵な音色を披露してくれたショーンさん、今年はトップダンサーである娘のキアラちゃん、奥さんのアンさんとともに登場します。

絵金蔵ライブは、限定100席の生音ライブ。ぜひ一度お試しください。

